

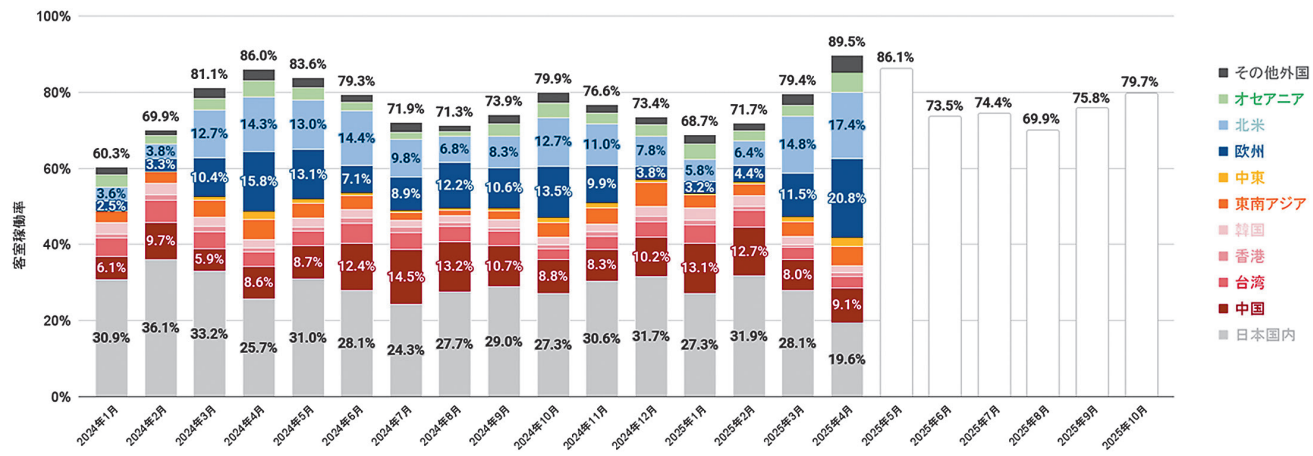
2025年春の京都観光、ホテル稼働率・客単価・観光客動向まとめ

当協会の統計調査にご協力いただいている京都市内主要ホテルにおける客室稼働率は、2025年4月に89.5%を記録しました。これは前年4月の86.0%を上回り、コロナ禍以降の最高値となります。昨年と比べると桜の開花時期や、欧米諸国からの旅行者が増えるイースター休暇の時期が遅くなったことで、外国人観光客の入洛時期が4月に集中したことが影響したものと考えられます。宿泊客に占める外国人比率は78.1%に達し、過去最高を更新しました。2025年4月の平均客室単価は30,640円と、統計開始以来初めて3万円を超え、今年も価格の上昇が緩やかに続く見込みです。

一方で、日本人の入洛者数の減少が懸念されるところですが、京都市が例年発表する京都観光総合調査によると、たしかに日本人の宿泊客数は減少したものの、それを上回る日帰り客数の増加があったことで、2024年の日本人観光客数は前年から4.6%増加となりました。円安や物価高の影響で遠方への旅行を控える代わりに日帰りで京都を訪れたり、周辺地域で宿泊して京都を訪れたりする人が増えているとも考えられます。京都が日本人にとって訪れたい街であることに変わりはないものの、観光がもたらす経済効果を地域全体へ幅広く波及させるために、宿泊客数を維持していくことは重要であるため、引き続き今年度も滞在型の観光の推進に取り組んで参ります。



市内主要ホテルにおける客室稼働率の月次推移(2025年5月以降は予測値)



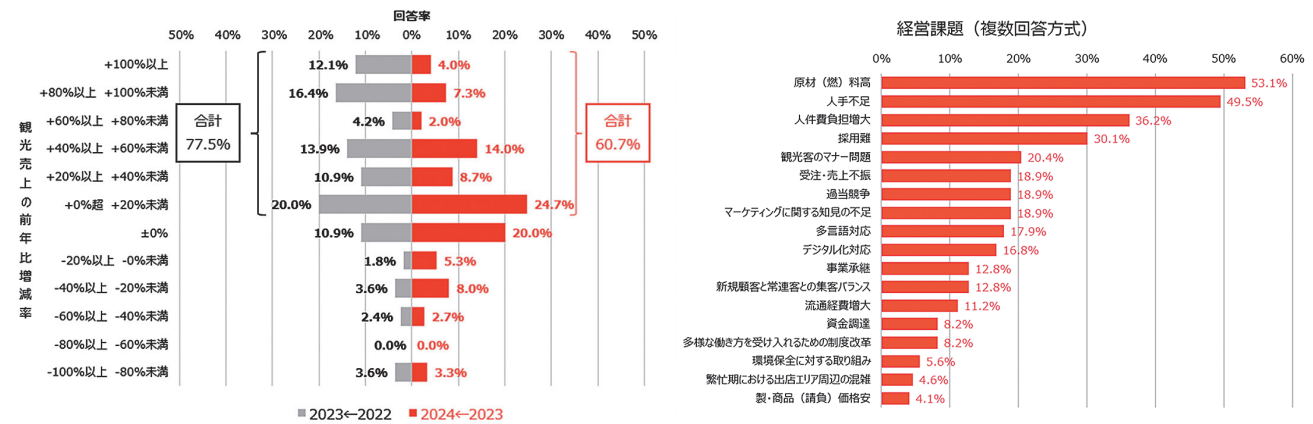
2024年 京都の観光業界、景況・経営課題・就労動向のまとめ

当協会では、京都観光に関わる事業者および従事者の皆様を対象にした年に1度の調査を行っており、第4回目の結果を3月に発表しました。

観光売上が前年から増加した事業者の割合は60.7%となりましたが、一昨年から前年にかけて増加した事業者の割合77.5%からは下落しました。前年と比べて主力商品の売価が上がった事業者は69.6%（前回調査70.5%）、原価が上がった事業者は83.0%（前回調査80.1%）となり、経営課題として約半数の事業者が「原材（燃）料高」「人手不足」と回答しました。

人件費総額の平均増減率は22.1%増（前回調査19.9%増）と引き続き上昇しており、従業員向けの調査においても収入が増加したと回答した人の割合は46.6%（前回調査46.8%）となりました。また、「現在の会社で働き続けたいか」という問いに対して肯定的に回答した従事者の割合は75.6%（前回調査69.7%）と改善しました。身に着けたいスキルは前年と同様に「語学」が最も多く、回答率は59.6%（前回調査57.5%）となり、次に「京都の歴史・文化・芸能」と回答した従事者が56.0%（前回調査48.7%）と続きました。

これらの調査結果を踏まえて、引き続き担い手支援に関する事業に取り組んで参ります。



令和7年度 定時総会を開催しました



6月18日(水)、ザ・プリンス京都宝ヶ池において、令和7年度定時総会を開催しました。岡田憲和京都市副市長、吉田孝雄京都市会副議長をはじめとする多くのご来賓と、約252名の会員の皆様をお迎えしました。（委任状提出746会員）

観光事業関係者表彰の表彰式を執り行った後、議案審議に進み、令和6年度事業報告及び決算が承認されたのち、役員の補欠選任が行われ、7名の理事を新たに選任しました。

報告事項では、本年度の事業計画として、「市民生活と調和した持続可能な京都観光」の実現に向けて、3つの計画方針（①

多様で奥深い魅力の発信による上質な文化観光の振興、②観光課題対策の更なる推進、③事業者支援）と実施事業の詳細、予算について報告しました。今年度、当協会の中期計画が最終年度を迎えることから、これまでの取組による成果と課題を総括するとともに、京都市の次期観光振興計画の方向性を踏まえ、また会員の皆様の御意見も汲み取りながら、令和12年に向けての新たな中期計画の策定に取り組んでまいります。

総会後に引き続いて開催した理事会においては、常務理事の選定、委員会委員の選任等の決議を行いました。

総会終了後には、昼食懇談会を開催し、会員相互の親睦と交流を深めていただきました。



令和7年度 観光事業関係者表彰

当協会では、毎年定時総会時に、京都市における観光事業の振興に貢献のあった方を表彰する「観光事業関係者表彰」を行っています。

今年度は、その実績が極めて顕著な方を表彰する「観光事業功労者表彰」に、写真家の水野克比古様、京都西山・大原野保勝会会長の小原喜信様、「観光業界功労者表彰」に、京都府旅行業協同組合理事長の森野茂様、京都観光施設協議会常任幹事の豊田覚司様を表彰しました。

また、観光客に接する方で、勤続年数15年以上であり、勤務成績優秀にして他の従事者の模範となると認められる方を表彰する「優良観光従事者表彰」に、宗教法人車折神社の小瀬隆夫様をはじめとする46名の皆様、多年にわたって伝統芸能の伎芸に研鑽し、観光客の迎接到に尽くし、後進者の模範となる方を表彰する「花街芸妓表彰」に、祇園甲部歌舞会の豆千鶴（野村陽子）様を表彰しました。

受彰者の皆様、誠におめでとうございます。



